

ごらくちょう

Bird of Paradise



発行 NPO 法人 日本・パプアニューギニア協会 編集 NPO 法人 日本・パプアニューギニア協会広報部 発行日 令和2年1月31日



新年のご挨拶

山下 勝男 (当協会 会長)



日本・パプアニューギニア協会の会員の皆様、あけましておめでとうございます。常日頃より当協会の主旨にご賛同いただき、ご協力を賜りまして誠に有難うございます。

さて昨年パプアニューギニアは、マラペ新首相の誕生、ブーゲンビル自治州の独立の是非を問う住民投票、第二次 LNG プロジェクトの進展等があり、大きな動きがあった年でした。

本年、特に日本との関係につきましては、レイのナザブ飛行場の UPGRADE 事業、ポートモレスビーの下水道完備、新大使のご着任、マナペ首相のご来日の可能性等があり、パプアニューギニアの財政難がとりざたされてはおりますものの、注目すべき事項が続きます。

日本とパプアニューギニアの友好の促進にお手伝いしている当協会としましては、昨年様々な活動を行ってまいりました。

機関誌「ごらくちょう」や「メールマガジン」による広報活動に加え、Toktok 会 (パプアニューギニアを語ろう会) を積極的に行いました。

◎文化人類学者加原奈穂子氏による「パプアニューギニアの文化と祭り ～ハダシの学者 西江雅之先生の足跡を中心に～」

◎ノンフィクション作家山口由美氏による「パプアニューギニア取材の現場から」

◎JICA から派遣のパプアニューギニア政府アドバイザー大島政義氏による「パプアニューギニアの開発の将来 - 開発政策・財務の動向とマラペ新政権を迎えて -」

◎山本元帥景仰会の皆さんによる「山本五十六記念館開館 20 周年記念 パプア・ニューギニアに感謝する報告会」

◎当会名誉顧問、元参議院議員堀江正夫氏による「大東亜戦争とニューギニア」

と、特に濃密な内容となりました。

また支援事業として法人会員仙台育英学園様のソゲリ高校での日本語教育の継続、JLPT (日本語能力試験) のポートモレスビーでの開催に向けての調整、陸上自衛隊軍楽隊によるパプアニューギニア国防軍への演奏技術向上事業への協力等を行ってまいりました。事務局へは多くのパプアニューギニア関係へのお問合せも受けており、それらに対し協会は真摯に対応を継続しております。

本年実施の支援事業は、1月の協会奨学生3名への奨学金支給、7月の JLPT の初の試験の実施、友好訪問団の派遣、オリンピック関連への支援などを念頭に置いております。

更に昨年末に設立されました本協会西山理事が会長を務める「日本・パプアニューギニア文化交流会」と積極的に関わり、パプアニューギニアからの学生の日本訪問をサポートしていきたいと思っております。

来年になりますが、桜の植樹も花井理事のご指導のもと協力をしてまいりたいと思っております。そして遺骨収集活動へも積極的に協力して参りたい所存です。

この様に活動の内容はますます拡がってきております。今まで取り組んできた苦勞がやっと実り始める年にできればとも考えております。関西支部、パプアニューギニア支部共々、是非今後とも皆様のご指導・ご鞭撻を賜れば有り難く存じます。本年も何卒宜しくお願い申し上げます。

中原邦之駐パプアニューギニア新大使 壮行会開催

協会事務局

2019年12月12日18時30分から霞山会館にて、当会主催による中原新大使の壮行会を開催いたしました。

大使の離日まであまり時間が無く、急遽開催が決定されましたが、当日は中原新大使のご臨席を賜り、協会からは村田名誉会長、山下会長、歴代の日本大使をはじめ法人会員、個人会員の合計26名が参加いたしました。

中原大使はご参加者お一人お一人からしっかりとお話をお聴きになりました。

また協会からは諸々の懸案事項についてのお願ひに加え、パプアニューギニアでの桜の植樹プラン、日本語能力試験、ソゲリ高校での日本語教育についてなど、現在進行形の情報を共有させていただきました。

協会からは、引き続き大使閣下、大使館の方々、JICA の職員の方々と共に ALL JAPAN 体制で両国友好のお手伝いさせていただく旨、大使にお伝えを致しました。



中原大使ご経歴

氏名	中原 邦之
昭和55年4月	外務省入省
平成8年8月	在シンガポール日本国大使館 一等書記官
11年7月	在瀋陽日本国総領事館 領事
13年12月	大臣官房領事移住部外国人課 課長補佐
16年5月	大臣官房 課長補佐兼内閣府事務官 情報公開審査会事務局審査官付審査専門官
18年2月	在香港日本国総領事館 領事
21年7月	在中華人民共和国日本国大使館 一等書記官
24年1月	在広州日本国総領事館 領事
27年12月	アジア大洋州局中国・モンゴル第一課地域調整官
29年12月	在青島日本国総領事館 総領事
令和元年11月	特命全權大使 パプアニューギニア国駐節

堀江正夫先生のご講演を伺って

(第18回 Toktok 会 10月30日開催)

加原 奈穂子 (当協会会員 早稲田大学非常勤講師)

文化人類学にかかわる者にとって、ニューギニアは憧れの地である。約1世紀前にマリノフスキーが民族誌の金字塔となる作品を書いたトロブリアンド諸島、マーガレット・ミードのマヌス島、ドキュメンタリー映画「ファースト・コンタクト」の舞台となった高地地方。また、わたしにとっては海軍の軍人だった祖父が戦死した地でもあり、約15年前に初めて訪れる前からどこか身近に感じていた。

「ジャワの極楽、ビルマの地獄、生きて帰れぬニューギニア」。太平洋戦争において、ニューギニアはあらゆる惨苦が集約された戦場であったという。研究調査の旅でも、うち捨てられた高射砲や戦闘機の残骸を度々目にした。現地の人々が語ってくれた戦争の記憶も忘れがたい。堀江先生のご講演資料によれば、東部ニューギニアには約15万の兵士が投入され、13万もが命を落とした。死因の6割超が栄養失調やマラリアによるものだという。日本の土を再び踏むことができたのは、わずか1万72名。昭和29年(1954)より遺骨収集が行われているが、帰還柱数はまだ5万あまりである。

なぜ日本は開戦に踏み切り、ニューギニアが戦場となったのか。連合軍との圧倒的な戦力差の下で日本軍がどれほど死力を尽くして戦ったか。そして、現地の人びとにどれほど助けられたか。ニューギニア戦線に参謀として参加された堀江先生のお言葉からは、戦況を大局的にとらえる視点と共に、戦場での人間としての生き様や戦友への深い思いが強く伝わってきた。

堀江先生は、戦後、自衛隊の幹部として、また参議院議員としてご活躍された一方で、パプアニューギニア関係でも、東部ニューギニア戦友・遺族会会長、日本パプア友好議員連盟副会長、日本パプアニューギニア友好協会会長などを務められてきた。こうした団体が、慰霊祭の実施や慰霊碑建設、現地への慰霊の旅、遺骨収集などの戦没者慰霊事業のほか、パプアニューギニアに対して技術者等の日本での研修、高等学校入学資金や災害時見舞金の提供、日本企業の現地展開などの継続的な支援を行い、日本とパプアニューギニアとの架け橋となってきた。堀江先生は、白寿を記念した御著書『わが人生を顧みて』(2014)の中で「ニューギニアの戦場体験を自分の生き様にできるだけ反映させようと思ってやって来

た」と述べられているが、まさにその言葉通りの生き方を貫かれた方なのだと感じる。

「日本人はブラザーだ」。戦後30年近く後に堀江先生がウエワクを訪れた際、軍の手伝いをしていた青年がやって来てそう言ってくれたという。悲惨な戦場下においても、こうした人間的な交流が生まれていたこと、そして、戦後から現在に至るまでパプアニューギニアとの絆を大切に築いて来られた方々の努力があったこと。そこにある思いをしっかりと受け止めて、新しい世代に少しでも伝えていけたらと考えている。



日本・パプアニューギニア友好議員連盟会長 田中和徳 復興大臣と



ご講演後の懇親会の様子



トロブリアンド諸島にて



噴煙をあげるラバウルの火山



ラバウルの海軍司令部があった地下壕 (山本バンカー)



海辺にたつまヌ島の慰霊碑

中嶋 敏 (駐パプアニューギニア特命全権大使)

【アロタウ市場及び水産設備改修計画引渡式】

11月19日、ミルンベイ州アロタウでアロタウ市場及び水産設備改修計画の引渡式が行われました。式典には中嶋敏大使をはじめ、カス漁業公社総裁、エイベル前金融相・地方開発相、遠山峰司 JICA パプアニューギニア事務所長、大日本土木・田中克幸執行役員など100名を超える関係者が出席しました。

カス総裁はスピーチの中で、ワン・ストップ・ショップ市場(関連するあらゆる商品を取りそろえる販売)は農業、観光業及び漁業の分野に多大な恩恵をもたらすだろう。物流は現金収入を生み、食料安全保障及び貧困緩和の実現を通じて PNG 全体をより強化するとして、日本政府と国民に感謝したいと述べました。

中嶋大使は、新しく整備された市場は2,800㎡の敷地面積を

有し、良好で衛生的な環境の中、広範囲な購買層を呼び込むことでミルンベイ州のビジネスと農業、漁業分野の開発をより活性化するという好循環を作り出すことを期待すると述べました。



アロタウ市場引き渡し式

ジョン・カス漁業公社総裁に市場のキー・ボックスを手渡す中嶋大使、後列左2番目からエイベル議員、UN Women ンディエリ代表、遠山 JICA 所長、ヌマ・ミルンベイ州行政長官

【中嶋大使離任レセプション】

12月5日、在パプアニューギニア大使館公邸にて中嶋大使離任レセプションが開催されました。中嶋大使は2017年1月に着任後、約3年間の任期中に2018年のPNG・APECが開催され安倍総理訪問の接受を行ったほか、ウエワク、ココポ/ラバウル、ケビエン、コピアゴなどでの経済協力サイト視察を精力的に行いました。中嶋大使在任中、日・PNG関係は大いに発展しました。離任レセプションには約140名ものPNG政府関係者や外交団などの出席があり、また、館員によるエピソード紹介などで大いに盛り上がり、出席者から中嶋大使への別れを惜しむ声が多く聞かれました。レセプション当日はPNG国会の最終日で審議が夜まで延長されたため、マラペ首相他多くの閣僚が出席を断念したものの、首相の代理でパト元外務国際貿易大臣が出席して、スピーチを行いました。また、レセプション終了後となりましたが、どうしても中嶋大使に挨拶がしたいとの思いでムトゥベル国営

企業大臣、バシル国家計画大臣、バード東セピック州知事が国会終了後に公邸に駆けつけ、大使に挨拶を行う場面がありました。中嶋大使は12月13日にパプアニューギニアを離任し、12月19日に後任の中原邦之大使が着任しました。



中嶋大使離任レセプションに駆け参じた閣僚等左からムトゥベル国営企業大臣、バシル国家計画大臣、バード東セピック州知事

駐日 PNG 大使館情報

2020 ALFS Bazaarのお知らせ

荻原 聖子 (パプアニューギニア大使館 大使秘書)

また今年もチャリティバザーの季節がやってきました。

本バザーは、アジア、大洋州26か国の協力のもとで開催され、当日の収益は全て参加国の福祉、教育支援、災害援助のために使われます。各国の珍しいお料理&民芸品の販売、今年は、インドネシアとインドの民族舞踊などをお楽しみ頂けます。

日時 2020年4月9日 木曜日

場所 ANA インターコンチネンタルホテル東京 地下1階大宴会場

入場券(抽選券付き) 2,000円・ラッフル券(抽選券付き)500円

尚、入場券、ラッフル券のご購入はパプアニューギニア大使館、荻原までご連絡いただければ詳細をお送りいたします。(03-3710-7001)、ogiwara@png.or.jp

2019年の収益金は、去年の学校改修費用と同様にMadangにある別の学校、Central Bargam Technical Instituteの学校の改修工事の一部費用のために100万円をアジア婦人会からヤボン臨時代理大使より寄付されました。写真は1月にヤボン臨時代理大使がそのオープニング式典にALFS寄付のプレートを持って学校訪問した様子です。

ご協力して頂いた皆様ありがとうございました。

本年度もバザーへの皆様のご来場を心よりお待ちしております。



協会会員の友好親善活動のご紹介 (スポーツで友好を！)

志村 容一 (当協会 副会長)

2020年、明けましておめでとうございます。
東京オリンピック開催の年でもあり、皆様方と一緒にPNG応援宜しく願い致します。

私はPNGに足を踏み入れて早20年が経ち、チンプ州コゲ村に奉仕団体であるライオンズクラブの関係で小学校校舎2棟を建設させていただき、毎年数回訪れております。

2014年にはその小学校の名前が我々のクレインライオンズクラブの名前に改名されて記念にマラソン大会を行い、上位2名を日本に招待させていただきました。この話をきっかけに2016年2月にチンプ州にあるモエナハイスクールで大がかりなマラソン大会を開催させていただき、(第1回友好会マラソン大会)同年10月に当時のパプアニューギニア駐日大使ガブリエル・ドゥサバ氏臨席の下「日本・パプアニューギニアスポーツ友好会」が設立されました。

翌年は、第2年目の活動として、当時のパプアニューギニア駐日代理大使のサムソン・ヤボン氏の出身地のマダンのメギアラハイスクールで村あげての大運動会を行いました。中でも長さ30メートル以上、太さ直径5センチほどのバンブー(竹)による綱引きならぬ「竹引き」が印象的でした。日本と同じように初めは子供達の競技でしたが、だんだんとエスカレートし、村人達の競争になってしまい大変な迫力でした。

昨年7月にはホスキンスの小学校で運動会を開催致しました。当地では運動会の習慣がないにも関わらず、今回は現地で活動されているJICAの方々に応援していただき、成功裏に開催することが出来ました。子供たちがJICAの方々や先生の指導の下、規

律正しく行動する姿が印象的でした。JICAの皆さま、大変ありがとうございました。

今年度は候補地が多くて未だ決まっていません。後日日時が決まりましたらお知らせさせていただきたいと思っておりますので是非ご参加ください！

東京オリンピック開催まであと半年だというのに、まだPNG代表選手が決まっていないようで心配です。しかし参加の節には皆さんで応援しましょう。私どもスポーツ友好会は会員25名でスタートし現在は50名程に増え、昨年はこれらの活動を認められ、スポーツ庁が支援しているSTFC(スポーツ・フォー・トゥモロー)に認証され加盟させていただきました。

今後とも日本・パプアニューギニアスポーツ友好会をご支援ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。



事務局からのお知らせ

オリンピックの年となりました。本年も何卒よろしく願いいたします。

山下会長の新年のご挨拶の通り、昨年は協会にとって忙しい年となりました。Toktok会は多くの方々にご参加をいただき、充実の内容をごお届けできたと担当者一同ほっとしております。メルマガも既に210号を超え、できるだけタイムリーな御案内をするように心掛けております。本年も各事業の担当者は実業の間できる限り協会活動をしっかり対応するように頑張っておりますので、引き続き皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

本年度の主な予定は、

- 1) ごらくちょう、メルマガなどの発行
- 2) 友好親善団の訪問
- 3) 新PNG大使のご着任歓迎会
- 4) 6月の総会開催

- 5) JLPTの試験の7月開催
- 6) PNG首相来日歓迎会の開催

などを予定いたしております。

その他太平洋諸島センターさん等関係団体のPNG関係のイベントについても、できる限りメルマガ上でご案内させていただきます。

- ◎令和2年度会費のお知らせ(令和2年4月～令和3年3月)

3月末～4月上旬に年会費のお振込のお願いをご案内させていただきます。

個人会員の方は6,000円、家族会員は3,000円、法人会員は60,000円、PNG国籍の方、学生会員は1,000円となっております。引き続き皆様のご支援をお願いいたします。また協会では常に新会員を募集しております。PNGにご縁がある方には是非とも協会へのご参加をお勧めください。

- ◎法人会員ご紹介

本号では、協会会員の友好親善活動のご

紹介を掲載させていただきました。次号では仙台育英学園様をご紹介させていただく予定です。

- ◎PNG関係のTV番組のお知らせ

出来る限り番組情報を事前に入手し、御案内できるようにいたしております。会員の皆様で情報をお持ちの方はぜひ協会までご連絡ください。

- ◎永代神楽祭のご案内 4月5日(日)

東部ニューギニア戦友遺族会主催の永代神楽祭が靖国神社で開催されます。詳細は連絡ご頂き次第、メルマガ等でご案内させていただきます。関係者の方々は是非ともご出席ください。

- ◎コロナウイルス関係(渡航情報)

既報の通り、現在ポートモレスビー空港での到着時のビザ発行が中止されています。事前に在京PNG大使館でのVISA取得が必要になっております。詳細は在京PNG大使館までお問合せください。

日本・パプアニューギニア協会 会員募集

本協会は、日本とパプアニューギニアが友好関係を促進し相互理解を深めることを目的とし、文化、芸術、スポーツ、観光等様々な活動を行っております。どうぞ本協会の活動をご理解下さり、ご協力の程をお願い申し上げます。

会員数 ◆ 法人会員：26社 ◆ 個人会員：129名 (2020年1月31日現在)

お問い合わせ先 日本・パプアニューギニア協会 事務局 〒103-0021 東京都中央区日本橋本石町3-2-12 社会保険労務士会館9階 日本ビジネスライン株式会社内
TEL:03-5216-3555 FAX:03-5216-3556 E-mail:info@jpng.or.jp URL:http://www.jpng.or.jp/

本協会では随時会員を募集しております。お知り合いの方ぜひお声をかけて下さい。

申し込み方法 郵便局の振込取扱票にてお申し込みください。

年会費 個人会員6,000円 家族会員3,000円 法人会員60,000円 学生、PNG人1,000円

会費受付 郵便振替口座をご利用ください。

口座番号 00140-2-277582

加入者名 トクヒ)ニホン パプアニューギニアキョウカイ